

## 令和3年度第1回防府警察署協議会会議録

開催日時	令和3年6月29日（火） 午後2時から午後3時15分までの間	
開催場所	防府警察署3階 講堂	
出席者	委員	黒瀬 智彦、藤村 泰則、高森 哲郎、塚原 正好、東福 俊明 浅井 典子、竹並 和子、杉本 幸、大谷 浩彦 計9人
	警察署	署長、副署長、会計主幹、警務課長、警察安全相談課長 生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長 交通課長、警備課長 計11人
議題	高齢者に対する効果的なうそ電話詐欺被害防止広報	
<p><b>1 会長挨拶（要旨）</b></p> <p>2名の委員の任期満了に伴い、新たに2名の委員が委嘱され、新体制となった。今後ともよろしく願います。</p> <p>昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、会議の開催を見送ることとなったが、今年度は開催することができた。私たち協議会委員は、警察の活動を理解した上で、市民の声を直接届ける必要があることから、本日は皆さんの忌憚のない意見をお願いします。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たないが、今後も協議会が定期的に開催できることを祈念している。</p> <p><b>2 署長挨拶</b> (省略)</p> <p><b>3 業務推進状況の説明（署長）</b></p> <p>令和3年1月から令和3年5月末までにおける業務推進状況と推進計画について、以下の項目に沿って説明した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 効果的な犯罪抑止対策の推進</li> <li>(2) 少年の非行防止対策の推進</li> <li>(3) 悪質重要犯罪の徹底検挙</li> <li>(4) 交通死亡事故抑止総合対策の推進</li> <li>(5) 地域安全活動の推進</li> </ol>		

#### 4 協議

##### (委員)

新型コロナウイルスワクチンの接種予約について、電話が繋がらない、インターネットが使えないなどの理由で、高齢者はなかなかワクチンの接種予約をすることができなくて苦労しているようである。このような状況下、テレビなどのニュースで「お金を出せば予約が取れます」という内容のうそ電話詐欺が多発していると報じられていた。山口県内でも同様の手口によるうそ電話詐欺は発生しているのか。

##### (生活安全課長)

6月15日、下関市内で「新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の事前予約が3万円でできます」という不審電話があったことを認知している。認知後すぐに、県民に対して注意を呼びかける広報を実施している。

##### (委員)

最近「年会費が落ちてません。ご確認ください」というような内容のURL付きのショートメッセージを送り、サイトに誘導後、データを盗んでお金を引き下ろす事件が発生している。

現役世代の人でもこうした詐欺の被害に遭うことからすれば、高齢者の詐欺被害防止は更に難しい問題であり、「私は大丈夫だ」と考えている高齢者のうそ電話詐欺被害を防ぐためには、コンビニや金融機関などの窓口における水際対策が必要と考える。

また、例えば離れて暮らす両親がうそ電話詐欺のターゲットにされた場合、両親が不審な電話やメールだと感じたとしても、子供が近くにいないこともあり、他の誰かに相談することに抵抗を感じるかもしれない。

このため、企業に依頼して、朝のミーティングや各種会議において警察が毎月15日に被害防止の広報活動を行っていることを伝えてもらったり、離れて暮らす両親に電話することを呼びかけるパンフレットを配布してもらうなどしてはいいかがか。両親と電話で話す機会が1か月に1回でもあれば、高齢者も離れて暮らす家族に相談しやすくなるのではないかと考える。

各種イベント等において、高齢者事故防止対策の広報活動に併せてうそ電話詐欺被害防止の広報活動も行っておられるので、今後も継続して取り組んでいただきたい。

##### (生活安全課長)

近年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて帰省等が難しいため、離れて暮らす家族との関係が疎遠になっている可能性があり、連絡をとったとしても、短時間の電話だけで用件を済ませることが多いのではないかと考える。こうした結果、電話がかかってきても声の違いに気付かず、本人からの電話であると勘違いしてうそ電話詐欺の被害に遭ってしまうものと思われる。

このため、うそ電話詐欺被害に遭わないよう、まずは家族に相談することを広

く呼びかけているところであり、企業において各種研修を行われる際には、警察が出張してうそ電話詐欺被害防止に係る講習を行うことができるので気軽に声をかけていただきたい。

ちなみに、若年層がうそ電話詐欺の被害に遭う場合は、メールで騙されるケースが多く、高校生等も不審なメール等が送られてきても家族に相談することができず、被害に遭うことがある。また、20歳代の女性でも「アダルトサイトを見ましたね」とのメールに騙されて、詐欺被害に遭っている。

現在、うそ電話詐欺の被害を食い止めるため、俳優の杉良太郎氏の呼びかけで集まった著名人により結成された「SOS47」というチームがあり、家族のつながりをテーマとしたうそ電話詐欺対策のメッセージ動画がインターネット上で公開されている。警察署には、このメッセージ動画を収めたDVDがあるので、ご覧になりたい場合は相談いただきたい。

#### **(委員)**

若者が変なサイトを見た結果、料金請求のメールが送られてきて何万円も支払う詐欺被害に遭う原因は、相談できる家族がいないことだと考える。

今は「〇〇警察署です」と警察を騙るうそ電話がかかってくる時代であり、何を信じたら良いのか分からなくなるが、被害防止に資する広報を行うためにも、事案の発生状況を把握して何らかの対策を講じていただきたい。

#### **(委員)**

一人暮らしの高齢者がうそ電話詐欺に巻き込まれるケースが多いことから、親と離れて暮らしている人は、親に一声かける日を毎月1回設けて「今元気でやっているか」、「悩み事はないか」などと確認の連絡をするよう呼びかける施策を考えてはいかがか。

また、相談するにしても、警察署に連絡することは、かなり抵抗があるように感じる。うそ電話詐欺の被害に遭う場合は、固定電話に突然電話がかかりお金を請求されるので、電話機の受話器に「電話で金銭を請求するのは詐欺です。必ず防府警察署に連絡してください」などと書かれた小さなステッカーを貼るなどして、市民に気軽に相談することができる防府警察署というイメージを持ってもらうことができれば、どんな些細なことでもすぐに連絡するようになり、うそ電話詐欺の被害が減るのではないかと考える。

#### **(生活安全課長)**

警察本部には、企業の御協力で作成した「うそ電話詐欺注意」と書かれたステッカーがある。また、防府警察署には、当署のマスコットキャラクターを使った「電話で現金は詐欺」と書かれたステッカーもあるので、活用していきたい。

#### **(委員)**

ステッカーの作成には費用がかかるので、市内のいろいろな企業から寄付を募るなど協力を得ることができたら良いと考える。

**(委員)**

戸別訪問はとても良い取組だと思う。

先日、親族が「息子が忙しくて電話もかけてこない。そんな中、突然うそ電話がかかってきたら、どうしようと困ってしまう」と言っていたので、戸別訪問を通じて警察から注意を呼びかけていただければ、非常に心強いのではないだろうか。

**(委員)**

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に行った際、警察が「うそ電話詐欺に注意」と書かれたチラシを配布していた。

また、毎月1回発行される交番だよりにはうそ電話詐欺に関する記事が掲載されており、いろいろと苦労されていることが窺える。

うそ電話詐欺などの犯罪被害を未然防止するためには、交通安全と同様に、繰り返し繰り返し、耳にたこができて何度も何度も広報し続けるしかないと思う。

これからも警察でも予算を確保していただき、いろいろな施策ができれば良いと考える。

**(委員)**

先日、地区の郵便局に立ち寄った際、郵便局の職員にうそ電話詐欺被害防止対策としてどのような対応をしているか尋ねたところ「ATMの前でうろついている人がいれば声をかける」、「交番の方といろいろと話し合っている」ということであったが、レターパックでお金を送る手口への対策については苦労されているようで、「レターパックには何を入れていますか」とはなかなか聞くことができないと言っていた。

うそ電話詐欺被害防止の広報活動はずっと続けていかなければならないが、警察だけでは被害を完全に防ぐことは難しいと考える。例えば、一人暮らしの高齢者宅を定期的に訪問する民生委員と連携を図り、警察が「こういう手口のうそ電話詐欺が発生している」という身に迫るような広報文を作成・提供して、民生委員が一人暮らしの高齢者宅を訪問する際に配布してもらい、うそ電話詐欺被害防止について話してもらおうよう依頼するなどしてはいかがか。

**(委員)**

私の地区の自治会では、一人暮らしの高齢者の安否確認のため、担当者が年に3回から4回ほど各世帯を巡回している。

「民生委員との連携」と重複するが、良い広報の機会であるので、うそ電話詐欺被害防止の広報をするよう依頼するなど、警察と自治会で連携を図っていただきたい。

**(委員)**

うそ電話詐欺対策が後手に回ることがないように、高齢者に対してどのような手口があるのか、どのような内容の電話がかかってくるのかなど具体例を示すことで、一人暮らしの高齢者にうそ電話詐欺被害防止対策が正確に伝わっているのか確認しつつ、継続して広報していくことが課題ではないかと考える。

他の委員が言われたように、繰り返し繰り返し、諦めずにいろいろな機会を通じて広報を行い、さまざまな形でつながりを持ちつつ話していくことが大事である。

詐欺の手口も言葉巧みになっており、広報活動だけでこの種の犯罪がなくなるとは思えないが、特に高齢者に対しては発生状況を含めた情報発信をすることで周知を図っていただきたい。

固定電話にかかってきた電話でうそ電話詐欺の犯罪が多発していることから、何らかの対策が進むことを願っている。

#### **(署長)**

貴重なご意見、ご提言に感謝する。

警察としては、さまざまな対策を講じているが、改めてみなさんの意見、提言から、このうそ電話詐欺被害防止の本質は、家族、地域、企業など、社会全体が絆をもった対策が不可欠であるということ強く感じさせていただいた。

我々警察も打った手の効果を検証して、新たな対策を進めるということ継続して推進していかなくてはならない。

今回の意見、提言を十分参考にさせていただき、改めて対策を練り返しながら、下半期に向けて有効な対策を講じていきたい。

## **5 その他**

### **(委員)**

横断歩道の標示が消えかかっている箇所や薄くなっている箇所があるので、交通事故防止の観点からも対策に取り組んでいただきたい。

また、夏場になるとバイクが飛ばして走り回る様子を見かけることから、パトロールの強化をお願いしたい。

### **(交通課長)**

横断歩道は、歩行者の安全確保のための重要な交通安全施設であることから、市民からの要望等を把握し、塗り替えについて、順次、警察本部に上申しているところであり、予算の都合上、学校施設や高齢者施設の周辺を中心に優先順位を決めて対応が進められている状況である。

また、これから夏場にかけて、爆音走行や空ぶかしをするバイクの取締りに向け、バイクの走行が予想される地域や路線については、パトロールや駐留警戒を強化することとしている。街頭活動中、コンビニなどに駐車している改造バイクを発見した際は、運転者や同乗者に対する職務質問を行い情報収集に努めるとともに、交通安全指導を行うこととしている。

## **6 配布資料**

- 業務説明資料
- 諮問事項資料